

秘

1927

海軍公報

第四七八五號

昭和十九年八月三十日(水)
海軍大臣官房

○令 達

内令第一〇〇一號
海軍通信隊編制令左ノ通定メラル

昭和十九年八月二十六日

内令提
登載

海軍通信隊編制令

第一章 總則

第一條 海軍通信隊編制ハ通信隊ニ於ケル諸般ノ任務遂行ニ適
應セシメンガ爲ニ定ムル隊員及諸物件ノ區分編組ニシテ其ノ
要旨トスル所ハ平時編制ヨリ戰時編制ヘノ轉換ヲ円滑ナラシ
ムルト共ニ戰時ノ要求ニ適セシムルニ在リ

第二條 海軍通信隊編制ヲ分チテ戰團編制及常務編制ノ二トシ
各編制ヲ通ジ通信隊ニ於ケル隊員及諸物件ハ第三條ニ規定ス
ルモノヲ除クノ外之ヲ通信科、内務科、醫務科及主計科ニ區
分ス

海軍通信隊ノ規模ニ應ジ一部ノ科ヲ他ノ科ニ合併シ又ハ之ヲ
置カザルコトヲ得
各科ニ配屬スル人員ヲ某科員ト稱ス但シ他ノ科ニ兼務又ハ補
助配置ヲ有スル者ハ之ヲ各其ノ固有配置ニ依リ呼稱ス

第三條 司令及副長ニハ必要ニ應ジ直屬トシテ隊附准士官以上

ヲ配シ其ノ命ヲ承ケ服務セシメ之ヲ司令附又ハ副長附ト稱ス

第二章 戰團編制

第一節 通信科

第四條 通信科ノ編制左ノ如シ

一 通信長

二 通信士 通信長ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助スル者ニシテ
隊附士官、特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

三 掌通信長 通信長ノ命ヲ承ケ兵器、要具、需品等ノ供給
及整備ヲ掌ル者ニシテ隊附特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充
テ又ハ通信科ノ他ノ配置ニ在ル隊附特務士官、准士官ソシ
テ之ヲ兼ネシム

四 通信科整備員 掌通信長ノ命ヲ承ケ兵器ノ調整及整備ニ
從事スル者ヲ謂フ

五 通信科要具庫員 掌通信長ノ命ヲ承ケ要具、需品等ノ配
給ヲ爲ス者ヲ謂フ

六 通信部

通信幹部

電信部

送信部

暗號部

(イ) (ロ) (ハ) (ニ) (ホ) (ヘ) (ニ) (イ)

秘海軍公報 第四七八五號 昭和十九年八月三十日

一一七一

七 敵信部

- (イ) 敵信幹部
- (ロ) 傍受部
- (ハ) 方位測定部
- (ニ) 判知部

八 標識部

第五條 通信部ハ受信所、送信所及其ノ關聯裝置並ニ所屬人員
(以上敵信部及標識部所屬ノモノヲ除ク)ヨリ成リ味方通信ニ
關スルコトヲ掌ル

第六條 通信幹部員ノ編制左ノ如シ

- 一 通信指揮官 司令ノ命ヲ承ケ味方通信ノ指揮ヲ掌ル者ニシテ通信長又ハ分隊長ヲ以テ之ニ充ツ
- 二 通信指揮官附 通信指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助シ通信幹部附ヲ直接指揮監督スル者ニシテ通信士又ハ隊附士官、特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ
- 三 通信幹部附 通信幹部ニ屬スル下士官及兵ノ總稱ニシテ其ノ主要分擔業務ニ應ジ左ノ如ク區別呼稱ス
- (イ) 補助員 通信指揮官又ハ通信指揮官附ノ命ヲ承ケ通信指揮ニ關スル業務ヲ補助スル者ヲ謂ヒ必要ニ應ジ之ヲ配ス
- (ロ) 傳令員 電話機、通報器、傳聲管等ニ就キ通信指揮ノ傳令ニ従事スル者ヲ謂ヒ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

第七條 電信部員ノ編制左ノ如シ

- 一 電信部指揮官 通信指揮官ノ命ヲ承ケ電信部員ヲ指揮スル者ニシテ分隊長又ハ隊附士官、特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ
- 本號ノ特務士官、准士官ヲ特ニ電信長ト稱ス
- 二 電信部指揮官附 電信部指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助シ又ハ一部ノ指揮ヲ分掌スル者ニシテ隊附士官、特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ
- 三 要務員 電信部指揮官又ハ電信部指揮官附ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助スル者ヲ謂ヒ其ノ一部ハ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得
- 四 交信員 無線電信送受信ノ業務ニ従事スル者ヲ謂フ
- 五 通話員 無線電話ノ通話業務並ニ無線電話機ノ操作及調整ニ従事スル者ヲ謂フ
- 六 送信機員 送信機又ハ送話機ノ操作及調整ニ従事シ必要ニ應ジ無線電信又ハ無線電話ノ送信又ハ送話ノ業務ニ従事スル者ヲ謂フ
- 七 受信機員 受信機又ハ無線電話機ノ操作及調整ニ従事シ必要ニ應ジ無線電信又ハ無線電話ノ送受信又ハ送受話ノ業務ニ従事スル者ヲ謂フ
- 八 有線交信員 有線電信ノ送受信ノ業務ニ従事スル者ヲ謂フ
- 九 有線電話機員 有線電話機ノ操作及調整ニ従事シ必要ニ

應ジ通話業務ニ従事スル者ヲ謂フ
第八條 送信部員ノ編制左ノ如シ

一 送信部指揮官 通信指揮官ノ命ヲ承ケ送信部員ヲ指揮スル者ニシテ分隊長又ハ隊附特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

二 送信部指揮官附 送信部指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助シ又ハ一部ノ指揮ヲ分掌スル者ニシテ隊附特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

三 要務員 送信部指揮官又ハ送信部指揮官附ノ命ヲ承ケ電信部ニ於ケル諸要務ニ従事スル者ヲ謂ヒ其ノ一部ハ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

四 送信機員 送信機又ハ送話機ノ操作及調整ニ従事シ必要ニ應ジ無線電信又ハ無線電話ノ送受信又ハ送受話ノ業務ニ従事スル者ヲ謂フ

第九條 暗號部員ノ編制左ノ如シ

一 暗號部指揮官 通信指揮官ノ命ヲ承ケ暗號部員ヲ指揮スル者ニシテ分隊長又ハ隊附士官ヲ以テ之ニ充ツ

二 暗號部指揮官附 暗號部指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助シ又ハ一部ノ指揮ヲ分掌スル者ニシテ隊附士官、特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

三 暗號部員 暗號部指揮官又ハ暗號部指揮官附ノ命ヲ承ケ暗

號ノ作製、翻譯等ニ従事スル者ニシテ隊附士官、特務士官、准士官又ハ下士官及兵ヲ以テ之ニ充テ其ノ一部ハ他ノ配置ニ在ル下士官及兵ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

四 要務員 暗號部指揮官又ハ暗號部指揮官附ノ命ヲ承ケ電信部ニ於ケル諸要務ニ従事スル者ヲ謂ヒ其ノ一部ハ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

五 傳令員 電報送達ニ従事スル者ヲ謂ヒ其ノ一部ハ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

第十條 敵信部ハ受信室、同附屬通信兵器、方位測定室(以上通信部及標識部所屬ノモノヲ除ク)方位測定室及其ノ關聯裝置並ニ所屬人員ヨリ成リ對敵通信ニ關スルコトヲ掌ル

第十一條 敵信幹部員ノ編制左ノ如シ
一 敵信指揮官 司令ノ命ヲ承ケ對敵通信ノ指揮ヲ掌ル者ニシテ通信長又ハ分隊長ヲ以テ之ニ充ツ
二 敵信指揮官附 敵信指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助シ敵信幹部ヲ直接指揮監督スル者ニシテ通信士又ハ隊附士官、特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ
三 敵信幹部附 敵信幹部ニ屬スル下士官及兵ノ總稱ニシテ其ノ主要分擔業務ニ應ジ左ノ如ク區別呼稱ス
(イ) 補助員 敵信指揮官又ハ敵信指揮官附ノ命ヲ承ケ敵信指揮ニ關スル業務ヲ補助スル者ヲ謂ヒ必要ニ應ジ之ヲ配ス
(ロ) 傳令員 電話機、通報器、傳聲管等ニ就キ敵信指揮ノ

傳令ニ従事スル者ヲ謂ヒ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼
ネシムルコトヲ得

第十二條 傍受部員ノ編制左ノ如シ

一 傍受部指揮官 敵信指揮官ノ命ヲ承ケ傍受部員ヲ指揮ス
ル者ニシテ分隊長又ハ隊附士官、特務士官、准士官ヲ以テ
之ニ充ツ

二 傍受部指揮官附 傍受部指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補
助シ又ハ一部ノ指揮ヲ分掌スル者ニシテ隊附士官、特務士
官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

三 傍受員 敵信ノ傍受業務ニ従事スル者ニシテ隊附士官、
特務士官、准士官又ハ下士官及兵ヲ以テ之ニ充ツ

四 對敵交信員 妨信、偽交信等ニ従事スル者ニシテ隊附特
務士官、准士官又ハ下士官及兵ヲ以テ之ニ充テ其ノ一部又
ハ全部ハ傍受員及送信機員ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネ
シムルコトヲ得

五 送信機員 送信機ノ操作及調整ニ従事スル者ヲ謂フ
六 傳令員 傍受ノ通信傳令又ハ電報ノ送達ニ従事スル者ヲ
謂ヒ其ノ一部ハ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネシムルコ
トヲ得

第十三條 方位測定部員ノ編制左ノ如シ

一 方位測定部指揮官 敵信指揮官ノ命ヲ承ケ方位測定部員
ヲ指揮スル者ニシテ分隊長又ハ隊附士官、特務士官、准士
官ヲ以テ之ニ充テ又ハ傍受部指揮官ノ兼務トス

二 方位測定部指揮官附 方位測定部指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ
業務ヲ補助シ又ハ一部ノ指揮ヲ分掌スル者ニシテ隊附士
官、特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

三 方位測定員 無線送信源ノ方位測定ニ従事スル者ニシテ
隊附特務士官、准士官又ハ下士官及兵ヲ以テ之ニ充ツ

四 測定管制員 管制業務ニ従事スル交信員、暗號員及要務
員ニシテ隊附特務士官、准士官又ハ下士官及兵ヲ以テ之ニ
充ツ

五 傳令員 方位測定ノ通信傳令又ハ電報ノ送達ニ従事スル
者ヲ謂ヒ其ノ一部ハ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネシム
ルコトヲ得

第十四條 判知部員ノ編制左ノ如シ

一 判知部指揮官 敵信指揮官ノ命ヲ承ケ判知部員ヲ指揮ス
ル者ニシテ分隊長又ハ隊附士官ヲ以テ之ニ充テ又ハ敵信指
揮官ノ兼務トス

二 判知部指揮官附 判知部指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補
助シ又ハ一部ノ指揮ヲ分掌スル者ニシテ隊附士官、特務士
官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

三 判知員 敵信ノ判知業務ニ従事スル者ニシテ隊附士官、
特務士官、准士官又ハ下士官及兵ヲ以テ之ニ充ツ

四 傳令員 判知部ノ通信傳令又ハ電報ノ送達ニ従事スル者
ヲ謂ヒ其ノ一部ハ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネシムル
コトヲ得

第十五條 標識部ハ無線標識裝置及同關聯裝置並ニ所屬人員ヨリ成リ無線標識ニ關スルコトヲ掌ル

第十六條 標識部員ノ編制左ノ如シ

一 標識部指揮官 司令ノ命ヲ承ケ標識部員ヲ指揮スル者ニシテ分隊長又ハ隊附士官、特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

二 標識部指揮官附 標識部指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助シ又ハ一部ノ指揮ヲ分掌スル者ニシテ隊附士官、特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

三 要務員 標識部指揮官又ハ標識部指揮官附ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助スル者ヲ謂ヒ其ノ一部ハ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

四 受信員 送受信ノ業務及受信機ノ操作及調整ニ従事スル者ヲ謂フ

五 送信機員 送信機ノ操作及調整ニ従事シ必要ニ應ジ送信ノ業務ニ従事スル者ヲ謂フ

六 傳令員 通信指揮ノ傳令又ハ電報ノ送達ニ従事スル者ヲ謂ヒ他ノ配置ニ在ル者ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

第二節 內務科

第十七條 內務科ノ編制左ノ如シ

一 內務長

二 掌內務長 內務長ノ命ヲ承ケ內務長主管（內務長主管中運用、電機及工作ノ部）及砲術長主管ノ兵器、需品等ノ供

給及整備ヲ掌ル者ニシテ隊附特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

三 內務科要具庫員 掌內務長ノ命ヲ承ケ主トシテ兵器、需品等ノ保管及配給ニ従事スル者ヲ謂フ

四 電機部

五 特務部

第十八條 電機部員ハ主トシテ發電機、電動機及其ノ關聯裝置ノ取扱及整備ニ關スルコトヲ掌ル其ノ編制左ノ如シ

一 電機部指揮官 內務長ノ命ヲ承ケ電機部員ヲ指揮スル者ニシテ隊附士官、特務士官ヲ以テ之ニ充ツ

二 電機部附 電機部指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助シ又ハ一部ノ指揮ヲ分掌スル者ニシテ隊附特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ本號ノ特務士官、准士官ヲ特ニ電機長ト稱ス

三 電機員 電機部ニ屬スル下士官及兵ノ總稱ニシテ其ノ主要分擔業務ニ應ジ左ノ如ク區分呼稱ス

(イ) 電機部下士官 電機部指揮官又ハ電機部附ノ命ヲ承ケ電機部ニ屬スル諸裝置ノ取扱ニ關スル業務ニ従事シ且之

方直接指導ニ任ズル者ヲ謂ヒ機關兵曹ヲ以テ之ニ充ツ

(ロ) 發電機員 發電機及其ノ關聯裝置ノ取扱ニ従事スル者ヲ謂フ

(ハ) 電動機員 電動機及其ノ關聯裝置ノ取扱ニ従事スル者ヲ謂フ

(ニ) 内務科電路員 内務科ニ屬スル電路其ノ他電機諸裝置

ノ整備ニ從事スル者ヲ謂フ

(ホ) 傳令員 電機部ノ通信傳令ニ從事スル者ヲ謂フ

前項ノ區分ノ外電機員ハ必要ニ應ジテ配員ヲ行ヒ其ノ取扱

フ所ノ機械等ノ稱號ニ依リ何號發電機員、何號電動機員等

ト稱ス

第十九條 特務部ハ主トシテ營造物及他ノ科ニ屬セザル諸裝置

ノ整備取扱竝ニ工作ニ關スルコトヲ掌ル其ノ編制左ノ如シ

一 特務部指揮官 内務長ノ命ヲ承ケ特務部員ヲ指揮スル者

ニシテ隊附士官、特務士官ヲ以テ之ニ充ツ

二 特務部附 特務部指揮官ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助シ又

ハ一部ヲ指揮ヲ分掌スル者ニシテ隊附特務士官、准士官ヲ

以テ之ニ充ツ

三 工業員 工作ニ從事スル者ヲ謂フ

四 自動車員 自動車ノ整備及取扱ニ從事スル者ヲ謂フ

五 罐員 罐ノ整備及取扱ニ從事スル者ヲ謂フ

第三節 醫務科

第二十條 醫務科ノ編制左ノ如シ

一 軍醫長

二 補助官 軍醫長ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助スル者ニシテ

隊附軍醫科士官、看護科特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

三 治療所員 傷者ノ看護ニ從事スル者ヲ謂ヒ看護員ヲ以テ

之ニ充ツルノ外必要ニ應ジ主計員ヲシテ補助セシム

第四節 主計科

第二十一條 主計科ノ編制左ノ如シ

一 主計長

二 補助官 主計長ノ命ヲ承ケ其ノ業務ヲ補助スル者ニシテ

隊附主計科士官、特務士官、准士官ヲ以テ之ニ充ツ

三 烹炊員 烹炊、給食等ノ業務ニ從事スル者ヲ謂ヒ其ノ主

席者ヲ烹炊員長ト稱ス

四 經理員 庶務、會計經理等ノ業務ニ從事スル者ヲ謂フ

第三章 常務編制

第二十二條 常務編制トハ常時ニ於ケル通信隊編制ニシテ日常

隊内諸業務ノ實施ハ主トシテ本編制ニ依ル

第二十三條 常務編制ハ戰鬥編制ヲ基礎トシ左ノ各號ニ準據シ

テ若干ノ分隊ヲ編成シ各分隊長之ヲ指揮ス但シ規模小ナル通

信隊ニ在リテハ通信科ノ分隊ハ適宜合併シテ之ヲ編成シ又兵

科以外ノ者ヲ纏メテ一個分隊ト爲スコトヲ得

一 通信幹部員及敵信幹部員ハ之ヲ適宜ノ分隊ニ編入ス

二 電信幹部員ハ本隊、分遣隊毎ニ之ヲ一個以上ノ分隊ニ編成

ス

三 送信部員ハ各分遣隊毎ニ之ヲ一個分隊ニ編成ス

四 暗號部員ハ之ヲ一個分隊トス但シ必要ニ應ジ電信部分隊

ニ編入ス

五 敵信部員ハ本隊、分遣隊毎ニ之ヲ一個以上ノ分隊ニ編成

ス

六 標識部員ヲ以テ一個分隊トス

七 内務科員及其ノ大部ヲ以テ各一個以上ノ分隊ニ編成シ又ハ適宜ノ分隊ニ編入ス

八 醫務科員及主計科員ハ其ノ大部ヲ以テ各一個分隊ヲ編成シ又ハ適宜ノ分隊ニ編入ス

第四章 補則

第二十四條 補缺員タル下士官及兵ハ之ヲ適宜ノ分隊ニ配屬ス

第二十五條 海軍通信隊ニ於テ始メテ本令ニ依ル海軍通信隊編制ヲ制定セントスルトキハ別表第一、第二及第三ニ準ジ區分表、准士官以上配置表及分隊表ヲ作製シ所屬長官ノ認許ヲ受ケ之ヲ海軍大臣ニ提出スベシ其ノ一部ヲ變更セントスルトキ亦同ジ此ノ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ附スルコトヲ要ス

第二十六條 海軍通信隊ノ施設、任務其ノ他ニ依リ本令ヲ適用シ難キ場合ニハ適宜之ニ準據シテ其ノ編制ヲ定ムルコトヲ得所屬長官ハ海軍大臣ノ認許ヲ受ケ研究又ハ實驗ノ爲一時本令ニ依ルコトナク海軍通信隊編制ヲ定メンムルコトヲ得

第二十七條 海軍通信隊ニハ海軍通信隊配員簿ヲ備フベシ

海軍通信隊配員簿ノ様式ハ別表第四及第五ニ依ル

第二十八條 前各條ニ規定スルモノノ外海軍通信隊編制ニ付テハ本令ニ抵觸セザル限り艦内編制令ヲ準用ス

(別表添)

内令兵第七二號

昭和十一年内令兵第四六號中左ノ通改正ス

昭和十九年八月二十八日

海軍大臣

別表中發光器ノ項ノ次ニ左ノ如ク加ヘ魚雷火管ノ項中「二五〇」ヲ「二二五〇」ニ改ム

發光器	改二箇	六五〇
發光器	三型改一箇	四五〇

(參照) 昭和十一年内令兵第四六號ハ海軍潜水學校學生、練習生用消耗兵器年額制定ノ件ナリ(内令提要卷三、三九五頁)

官房醫機密第六號

左ノ各號ニ依リ海軍軍醫學校ニ於テ選兵ニ關スル講習ヲ施行ス

昭和十九年八月二十八日

海軍大臣

一 講習課目
眼科領域ニ於ケル選兵法特ニ偽性近視ノ發見法ト其ノ豫防及治療法

二 講習期日
第一回 昭和十九年九月十五日ヨリ十日間
第二回 昭和十九年九月二十八日ヨリ十日間

三 講習指導官及輔佐官
指導官 海軍軍醫學校長
輔佐官 海軍軍醫學校 船川教官
同 田中教官

要内令提
登載

秘海軍公報 第四七八五號 昭和十九年八月三十日

四 講習員
(イ) 派遣所轄

第一回	第二回
館山海軍砲術學校	旅順方面特別根據地隊
藤須賀海軍通信學校	海軍水雷學校
各海兵團	海軍航海學校分校
橫須賀海軍砲術學校	三重海軍航空隊奈良分遣隊
海軍航海學校	三重海軍航空隊高野山分遣隊
海軍對潛學校	松山海軍航空隊
土浦海軍航空隊	松山海軍航空隊宇和島分遣隊
洲ノ崎海軍航空隊	美保海軍航空隊
第二相模野海軍航空隊	福岡海軍航空隊
藤澤海軍航空隊	福岡海軍航空隊小藤分遣隊
三重海軍航空隊	滋賀海軍航空隊
鹿兒島海軍航空隊	滋賀海軍航空隊西宮分遣隊
	滋賀海軍航空隊寶塚分遣隊

(ロ) 派遣員數
各所轄軍醫科士官一名宛

講習員ヲ派遣シ得ザル所轄ハ其ノ旨報告スベシ
五 指導官ハ講習終了後其ノ實施經過概要並ニ所見ヲ報告スルモノトス
六 旅費
講習員ノ旅費ハ昭和十八年官房經第七號ニ依リ請求ヲ俟テ別途配布ス
官房經機密第一三二七號
艦船部隊等ノ經費等ノ取扱特例中左ノ通改正ス
昭和十九年八月二十九日

海軍大臣

第十一條ノ二 主計科准士官以上ノ配員ナキ艦船部隊等ニシテ其ノ經費掌理者ヲ指定セラレザル場合ハ當該艦船部隊等ノ長ハ最寄ノ廳長ト協議ノ上其ノ經費掌理者ニ之ヲ給與其ノ他ノ經費支拂ヲ委託スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ當該經費掌理廳長ハ速ニ其ノ旨海軍大臣、當該艦船部隊等ノ所屬長官及同所管鎮守府ニ屬スル海軍經理部長ニ夫々報告又ハ通知スベシ
第十三條 特設艦船部隊令ニ依ル特設ノ隊、班等ニシテ主計科准士官以上ノ配員ナキモノノ給與其ノ他ノ經費支拂ハ其ノ配屬又ハ設置セラレタル各部ノ經費掌理者ヲシテ之ヲ掌理セシム
第十三條中第一項但書ヲ左ノ如ク改メ同條第二項ヲ削ル

但シ主計科准士官以上ノ配員ナキ場合ニ於テハ第十一條ノ二ノ規定ヲ準用ス

第五章ノ次ニ左ノ如ク加フ

第六章 給與事務ノ取扱

第十九條ノ三 主計科准士官以上ノ配員ナキ艦船部隊等ニシテ他廳ノ經費掌理者ヲシテ其ノ經費支拂ヲ掌理セシムル場合ハ當該艦船部隊等ノ長ハ給與計算ノ資料タル其ノ廳ノ通達簿寫又ハ之ニ準ズベキモノヲ給與掌理者ニ送付スルモノトス
給與掌理者變更シタルトキハ舊掌理者ハ海軍給與令施行細則第百六十九條ノ規定ニ準ジ作製シタル給與通牒(宛名ヲ省略スルコトヲ得)ニ通フ當該艦船部隊等ノ長ニ送付スルモノトス
當該艦船部隊等ノ長前項ノ給與通牒ヲ受理シタルトキハ一通フ保管シ他ノ一通ヲ新經費掌理者ニ移牒シ給與ヲ受クルモノトス

(參照) 海軍機密會計法規類集一頁

官房設第七六號

大東亞戰爭ニ際シ海軍航空隊施設標準別冊ノ通定ム別冊ハ海軍施設本部長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム
昭和十九年官房設第一八號別冊中海軍航空隊建物設計標準ヲ削ル

昭和十九年八月二十八日

海軍大臣

○ 通牒

艦本機密第二二號ノ一四五八二
海軍艦政本部技術會議事規程及海軍艦政本部技術會議ノ編制中左ノ通改正ス

昭和十九年八月二十四日

海軍艦政本部長

- 一 海軍艦政本部技術會議事規程
第三條中第三分科會ヲ「電氣兵器(航空兵器ヲ除ク)ニ、第十一分科會ヲ「機雷兵器(航本所掌ノモノヲ除ク)、音響兵器(航本並ニ電本所掌ノモノヲ除ク)、航海兵器、見張兵器、光學兵器」ニ改ム
- 二 海軍艦政本部技術會議ノ編制
(一) 第三分科會中「無線兵器(航空兵器ヲ除ク)」及「同第一委員會無線關係兵器(航空兵器ヲ除ク)」ヲ削リ以下委員會ヲ順次繰上グ
(二) 第十一分科會中「音響兵器(航本所掌ノモノヲ除ク)」及「同第二委員會「音響關係兵器(航本所掌ノモノヲ除ク)」ヲ「音響兵器(航本並ニ電本所掌ノモノヲ除ク)」、音響關係兵器(航本並ニ電本所掌ノモノヲ除ク)」ニ改ム

○ 雜 款

○事務所移轉
 第五百十防空隊ハ八月十七日鹿屋市笠野原航空基地内ニ事務所ヲ移轉シ事務ヲ開始セリ

○事務開始
 第五十六號海防艦機裝員事務所ヲ八月二十一日神戸川崎造船所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去
 第十四防疫班事務所ハ八月二十日之ヲ撤去セリ

驅逐艦機裝員事務所ハ八月二十一日之ヲ撤去セリ

○殘務整理

第五四一海軍航空隊ハ七月十日附解隊殘務整理ハ鹿兒島縣東國分派遣隊殘務整理班ニ於テ之ヲ行フ

第三二海軍航空隊ハ七月十五日解隊殘務整理ハ本隊ウランガニ分遣隊ニ於テ行フ

(非島海軍航空隊)

○正誤
 八月二十五日附秘海軍公報令達欄二四六頁下段「官房需第二一二號」ハ「官房需第二二七號」ノ、八月二十六日附秘海軍公報令達欄一四九頁上段「官房經機密第八一九號」ハ「官房經機密第一三二六號」ノ、八月二十七日附秘海軍公報通牒欄一五九頁上段「軍務一機密第八〇〇號ノ五」ハ「軍務一機密第八〇〇號」ノ孰モ誤

合同海軍葬儀執行

期 日 及 時 刻	大東亞戰爭戰歿者	喪葬管理者	場 所	記 事
九月七日 一三〇〇	故海軍大佐伊豆壽市外諸勇士	熊本地方海軍人事部長	熊本市公會堂	佛式
九月八日 同	故海軍中佐田岡 清外諸勇士	高松地方海軍人事部長	高松市縣公會堂	同
九月二十三日 一〇〇〇	故海軍中尉本間俊夫外諸勇士	新潟地方海軍人事部長	新潟市公會堂	同

1937

(内令第一〇〇一號別表第二)

某海軍通信隊區分表

(昭和十九年八月三十日海軍公報)

本			區
、 、 分遣隊	、 、 分遣隊	隊	分
乙	丙 丁 戊	甲 丙	種 別
、 、 、	、 、 、	、 、 、	所 在 地
第 、 分隊	第 、 第 、 分隊	第 、 第 、 分隊	平 時 編 制

1938

(内令第一〇〇一號別表第二)

某海軍通信隊准士官以上配置表

(昭和十九年八月三十日秘海軍公報)

職名	官階	編制令ニ依リ海軍通信隊ニ於テ定ムル配置	
		戰時	平時
司令			
副長			
隊長			
通信隊長			
分隊長			
〃			
〃			
〃			
内務隊長			
隊附			
〃			
〃			
〃			

以下之ニ準ズ

1939

(内令第一〇〇一號別表第三)

某海軍通信隊分隊表

(例) 第一分隊(電信部分隊)

分隊長 大尉 一分隊士 中曹長 少尉

(昭和十九年八月三十日秘海軍公報)

電 信 部	電 信 員	電 信 員	戰 闘 配 置		計	記 事
			高	下		
〃	〃	〃	普	士		
〃	〃	〃	無	官		
〃	〃	〃	高	兵		
〃	〃	〃	普			
〃	〃	〃	無			
計						

備考 兼務配置ヲ有スル者ハ其ノ旨ヲ明示シ又特技ヲ要スル場合ノミ記註スルモノトス

1940

(内令第一〇〇一號別表第四)

准士官以上配員簿

海軍通信隊(木蔭)分遣隊

(昭和十九年八月三十日祕海軍公報)

	職名
	官階
	定員
	現員
	氏名
	分隊
	第一
	第二
	第三
	通信配備
	防空
	防火
	特務
	記事

1941

(内令第一〇〇一號別表第五)

第 分隊下士官及兵配員簿

(昭和十九年八月三十日秘海軍公報)

	編制令ニ 依ル配置
	配員 番號
	氏 名
	官職階特科 定員
	現員
	第一
	第二
	第三
	防空
	防火
	特務
	班
	記 事

秘

1942

海軍公報 第四七八號

昭和十九年八月三十一日(木)
海軍大臣官房

○令 達

達第二八四號

魚形水雷失蹤ニ取扱規則中左ノ通改正ス

昭和十九年八月二十九日

海軍大臣 臣

第二條中「第四十二條」ノ下ニ「又ハ航空兵器經理規程第五十

五條」ヲ加フ

第三條中「第三十五條」ノ下ニ「又ハ航空兵器經理規程第四十

七條」ヲ加フ

官房機密第一三二〇號

海軍購買名簿、部外祕購買名簿及臨時購買名簿中別紙ノ通改正

ス

別紙ハ海軍省經理局長ヲシテ必要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十九年八月二十五日

海軍大臣 臣

官房第八七二號

昭和十六年官房第八六九號中左ノ通改正ス

昭和十九年八月二十九日

海軍大臣 臣

秘海軍公報 第四七八號 昭和十九年八月三十一日

「支那事變」ヲ「大東亞戰爭(支那事變ヲ含ム)」ニ、「(要港部

病院及海軍軍醫學校ヲ含ム)」ヲ「(海軍軍醫學校附屬病院及戰

時衛生勤務ヲ補助スル日本赤十字社支部病院ヲ含ム)」ニ、第二

號及第三號中「二十錢」ヲ「三十錢」ニ、第四號中「十錢」ヲ

「十五錢」ニ改ム

(參照) 昭和十六年官房第八六九號ハ支那事變ニ關シ傷損ヲ受ケ又

ハ疾病ニ罹リ海軍病院(要港部病院及海軍軍醫學校ヲ含ム)

ニ入院中ノ戦傷患者ノ附添人ニ對スル糧食ノ給與ニ關ス

○通 牒

教育機密第二九七號ノ二

昭和十九年八月二十九日

海軍省教育局長

各鎮守府參謀長

各警備府參謀長

各艦隊參謀長

各練習隊司令官

吳防備戰隊司令官

關係各所長

海軍豫備學生出身海軍少尉實務練習ニ關スル

件通知

八月十七日附教育機密第二九七號首題ノ件中左記ノ如ク追加セ

ラレ候條了知相成度

番號	出身	種別	員數	期間	實施練習	記	事
四	水校	約	〇名	全	右	主トシテ	各防備隊

(参照) 八月二十二日秘海軍公報一一三六頁

○雜 款

○開隊

第二十一輸送隊ハ七月二十日横濱市中區海岸通(横濱在勤海軍武官府氣付)ニ開隊セリ

○殘務整理

第四輸送隊ハ七月十八日附解隊殘務整理ハ第二十二輸送隊ニ於テ之ヲ行フ

○事務開始

第百八十三、第百八十四、第百八十五、第百八十六、第百八十七、第百八十八防空隊ハ八月一日館山海軍砲術學校内ニ於テ事務ヲ開始セリ

第五百六船舶防空隊ハ八月十七日横濱市花咲町四丁目三菱船渠假兵舎(假稱)内ニ於テ事務ヲ開始セリ

第十號輸送艦艦裝員事務所ヲ八月二十三日吳海軍工廠内ニ設置

シ事務ヲ開始セリ

第三百十六、第三百十七、第三百十八設營隊事務所ヲ八月二十三日吳海軍施設部内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

第五十一號海防艦艦裝員事務所ヲ八月二十三日神戸市兵庫區和田崎三丁目三菱神戸造船所海軍監督官室内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去

明治航空基地内第三四五海軍航空隊殘務整理事務所ハ八月二十五日之ヲ撤去セリ

○旅費領略

旅費領略ノ事ハ前報ノ如ク東京海軍省機關及小大和關人ノ採買事務並ニ取具ラレ候キ付自今東京海軍省小田原練兵所海老名驛ト車中又ハ東京海軍省行方ノ路線小田原驛ト車中ノ利用相成度トシテ兩驛ト車中取具ヲ徒歩約五分トス

○本日普通公報發行セズ

海軍少佐青木又男八月十七日飛行訓練中遭難殉職八月十九日厚木航空基地ニ於テ神式ニ依リ海軍葬儀執行セリ

1944

記
録

昭和十九年八月官房經機密第一三二〇號別紙

購買名簿登録者追加		項目	登録品名	会社名	本社所在地	工場名	工場所在地
一ノ二六	アルミナ砥料	日本鑛業工業株式会社	東京都京橋區銀座二丁目二一四	蒲原工場	静岡県藤原郡蒲原町蒲原四七八〇		
二ノ八ノ二	航空機用熔接鋼管	東芝鋼管株式会社	川崎市港町七三		川崎市港町七三		
四ノ二五	配線盤二次電池充放電配電盤試験用配電盤類	オクダ電機株式会社	京都市下京區唐橋經田町三		京都市下京區唐橋經田町三		
五ノ五四	流量計(艦船用)	宮崎清吉	東京都目黒區富士見臺一五三〇	宮崎製作所	東京都目黒區富士見臺一五三〇		
六ノ八	鋼索	東京製綱株式会社	東京都日本橋區吳服橋三丁目五	大阪工場	大阪府城東區今福町南三丁目三四		
八ノ七	保温耐火煉瓦	和倉珪藻土工業株式会社	大阪府北區槌上町七七	本社工場	石川縣七尾市石崎町		
臨時購買名簿登録者追加							
二ノ三一	高力黄銅棒 (拔マシメタル青銅棒ヲ含ム)	株式会社清水精工所	東京都本所區吾妻橋二丁目四		埼玉縣北足立郡安行村花栗		
二ノ三二	ネーバル黄銅棒	東邦伸銅株式会社	東京都板橋區志村西臺町二〇三	本社工場	東京都板橋區志村西臺町二〇三		
二ノ三七	アルミニウム棒 (航空機用)	野村製鋼株式会社	東京都日本橋區通一丁目一	本八幡工場	市川市八幡一五〇		
二ノ四二	銀鋼材 (ピレットブルーム類)	大起特殊鋼材株式会社	東京都城東區南砂町四丁目六二五		東京都城東區南砂町九丁目二四七〇		
二ノ四五	可鍛鑄鐵製品	中央可鍛工業株式会社	名古屋市中川區富川町三丁目一	本社工場	名古屋市中川區富川町三丁目一		

部外秘臨時購買名簿登録者追加	一四ノ二九	輕質炭酸カルシウム	白石工業株式會社	大阪市西成區津守町一〇六二	群馬工場	群馬縣北甘樂郡青倉村
	一四ノ三四	漆酸アンモンナトリウム	日本兵器藥品株式會社	東京都板橋區小豆澤町四丁目二〇	土佐工場	高知縣高岡郡吾桑村
	一四ノ三五	過酸化石灰	東京化學産業株式會社	東京都日本橋區本町一丁目八	志村工場	東京都板橋區志村長後町一八一八
	一四ノ三六	鹽素酸バリウム	東京化學産業株式會社	東京都小石川區春日町一丁目一〇	高崎工場	高崎市江木町七六〇
	一七ノ二六	尿素系合成樹脂接着劑	理研合成樹脂株式會社 (航空機用ヲ除ク)	東京都神田區花房町二丁目一〇	吾嬬工場	東京都向島區吾嬬町東一丁目一〇二
	一七ノ三〇	泡沫消火器	中央理化學株式會社	大阪市福島區鷺洲上二丁目一〇	共同機械製作所	大阪市福島區鷺洲上二丁目一〇
	一七ノ五二	化學工業用耐酸機械器具	岩根精一	東京都京橋區寶町一丁目七	愛知縣東春日井郡高藏寺町字高藏寺	愛知縣東春日井郡高藏寺町字高藏寺
	一七ノ五七	微粉研磨材	高藏工業株式會社	愛知縣知多郡武豐町小迎一八四	愛知縣知多郡武豐町小迎一八四	愛知縣知多郡武豐町小迎一八四
	一ノ二七ノ二	機銃彈藥包 (二五耗以下)	旭兵器製造株式會社	愛知縣東春日井郡旭村大字新居五〇五〇	本社工場	愛知縣東春日井郡旭村大字新居五〇五〇
	三ノ一五	四號戊劑	株式會社中山製鋼所	大阪市大正區船町三丁目四	大垣工場	大垣市寺内町四丁目
八ノ一	空氣壓搾唧筒	大阪機工株式會社	大阪市大淀區豐崎西通一丁目四	加島製造所	大阪市西淀川區加島町二丁目五	
		株式會社日立製作所	東京都墨田區丸の内二丁目一	龜戶工場	東京都城東區龜戶町八丁目一八〇	

四

六ノ一二	魚雷部分品	株式会社和川製作所 株式会社栗崎齒車製作所 利根川精機株式会社 (加工ノミ)	廣島市堀川町八六 東京都蒲田區東六郷一丁目一九ノ三 東京都大森區調布千島町九	松山工場	愛媛縣松山市八代町三八
六ノ一七	魚雷爆發尖	水本東美一 (加工ノミ) 合名會社日本航空精機製作所 株式會社日本光測機製作所	和歌山市宇須 大阪府豐能郡庄内町大字洲到止一七七 東京都大森區馬込町西四丁目三〇七八 東京都大森區大森四丁目五	山東鐵工所 水本兄弟製作所 本社工場 本社工場	和歌山市宇須 大阪府豐能郡庄内町大字洲到止一七七 東京都大森區馬込町西四丁目三〇七八 東京都大森區大森四丁目五
六ノ二〇	水雷用成型銀銅品	廣瀬鉦丸 東洋製鋼株式會社	名古屋市中川區千代田町一丁目三六 大阪府泉南郡佐野町大字下尾屋八六〇	廣瀬鐵工所 西宮工場	名古屋市中川區千代田町一丁目三六 大阪府泉南郡佐野町大字下尾屋八六〇
七ノ五	各種發射管部分品	太陽空氣株式會社	東京都蒲田區今泉町三〇	機軸製作所	東京都蒲田區今泉町三〇
八ノ一	空氣壓搾唧筒	田邊照三 京阪機工株式會社	大阪市浪速區櫻川四丁目三九四 京都市伏見區桃山町彈正島二四	仙川工場	京都市伏見區桃山町彈正島二四
八ノ三	氣(特殊蓄鋼製)器	櫻金屬工業株式會社	東京都澁谷區幡ヶ谷笹塚町一〇三七	小松川工場	東京都江戸川區東小松川四丁目一九一二

九ノ一	機雷	高木清	堺市北庄町一丁三一	高木鐵工所	堺市北庄町一丁三一
一一ノ一	爆雷	大亞重工業株式會社	東京都瀧野川區西ヶ原一四三七	瀧野川工場	東京都瀧野川區西ヶ原一四三八
一一ノ六	投射機	原電氣株式會社	東京都瀧野川區西ヶ原一〇	東京工場	東京都瀧野川區西ヶ原一丁
一七ノ一三	航海兵器用小型電動機	株式會社日立製作所	東京都瀧野川區丸の内二丁目一二	多賀工場	茨城縣多賀郡多賀町大字河原一五〇一
二四ノ五	高周波用電壓計、電流計	鈴木特殊硝子製造株式會社	東京都東區龜戸町一丁目一〇六		東京都東區龜戸町一丁目一〇六
二八ノ七四	爆彈用硝子板				
二八ノ七五	計器用水準器				
購買名簿登錄削除者					
一ノ二六	アルミナ砥料	東光電氣株式會社	東京都龜町區有樂町一丁目三	研削材工場	靜岡縣庵原郡蒲原町蒲原四七八〇
一ノ二八	炭化硅素砥料				
三ノ六二	チェンブロツク	佃千之助	吳市神田町七丁目一六	佃鐵綫製鐵所	吳市神田町七丁目一六
一七ノ四二	折疊需品	愛國産業株式會社	川崎市藤咲町二丁目一〇八		川崎市藤咲町二丁目一〇八
一九ノ一	ポリエステルフ	沖繩貯藏食品製造株式會社	沖繩縣島尻郡眞和志村字松川八九		沖繩縣島尻郡眞和志村字松川八九
部外秘臨時購買名簿登錄削除者					
二一ノ五二	航空無線用振動子	株式會社光精機製作所	東京都蒲田區糞谷町四丁目一七六二		東京都蒲田區糞谷町四丁目一七六二

1951

購買名簿登録者名義變更		項目	新登録者名	舊登録者名	記	事
一七ノ一六	一ノ一ノ三	九ノ九八七三二	帝國パツキン工業株式会社	日本バルカー工業株式会社	本社所在地ヲ東京都麹町區丸ノ内三丁目二番地ニ改ム	
		八ノ二	鐘淵工業株式会社	鐘淵實業株式会社		
		五ノ六八	株式会社島津製作所	島津計器工業株式会社		
		四ノ三四 三五	富士真空工業株式会社	メトロ電気工業株式会社		
		四ノ 三三三 一一〇九	エビス真空器株式会社	エビス電球株式会社		
		三ノ七二	株式会社鷺尾工作所	鷺尾秀太郎	工場名ヲ削ル	
		三ノ五	日本坩堝株式会社	井上坩堝株式会社	工場名欄ニ「澁川工場」ヲ加フ	
		三ノ二	阪神内燃機工業株式会社	株式会社阪神鐵工所		
		一ノ 八七六	東亞鑛工株式会社	鯛生産業株式会社		

臨時購買名簿登録者名儀變更	九ノ一〇	曙兵器工業株式會社	曙石綿工業株式會社
	一八ノ六	日本飛行機タイヤ株式會社	日本自動車飛行機タイヤ製造株式會社
	一六ノ九三	敷島紡績株式會社	朝日紡績株式會社
	一六ノ二六	鐘淵工業株式會社	鐘淵紡績株式會社
	一八ノ七	松文産業株式會社	合資會社松文機業場
	一六ノ二五	東海金屬株式會社	東海鉛管株式會社
	一七ノ二七	櫻調帶工業株式會社	羽田調帶株式會社
	二〇ノ二	古河鑄造株式會社	株式會社秋田工場
	二ノ六六五	東亞潛水機株式會社	潛水材料合資會社
	三ノ四	山陽航空工業株式會社	山陽製紐株式會社
一一ノ四	日管航器株式會社	日本管樂器株式會社	

二ノ 三〇一九五	株式會社日立製作所	日昭電線伸銅株式會社	本社所在地ヲ東京都麹町區丸ノ内二丁目一 番地ニ改ム
二ノ 二六八	清峰金屬工業株式會社	株式會社清峰伸銅所	
二ノ 一五一	日本金屬精工株式會社	富士通安輪具株式會社	本社所在地ヲ大阪市東區淡路町四丁目五四 番地ニ改ム
三ノ 三三三	八雲航空工業株式會社	株式會社佐藤螺子製作所	
三ノ 三三三	小鈴航空工業株式會社	株式會社大阪バルブ製作所	
三ノ 六四	日本航空工業株式會社	大阪螺旋管工業株式會社	
四ノ 一七	日本隔離板株式會社	村田修策	工場名ヲ削ル
四ノ 二九	日本真空機工業株式會社	日本電球株式會社	
四ノ 六三ノ一	帝國通信工業株式會社	東京無線電機株式會社	本社所在地ヲ川崎市菊宿字四丁目三三五ニ 改ム
一六ノ 一一二	東洋航空纖維株式會社	東洋麻絲紡績株式會社	
一六ノ 八ノ三	鐘淵工業株式會社	鐘淵紡績株式會社	
一七ノ 三九	共和航空化工株式會社	共和レザー株式會社	
一七ノ 五六	荻村精器工業株式會社	荻村清治	工場名ヲ削ル
二ノ 八〇七九	古河鑄造株式會社	株式會社秋田工場	
四ノ 六四			

部外祕購買名簿登錄者名義變更

一ノ一七		一ノ二		二ノ三九		二ノ三九	
一ノ一七	四ノ二	二ノ三九	三ノ三三	二ノ三九	三ノ三三	二ノ三九	三ノ三三
株式會社藤田組	株式會社大成兵器株式會社	株式會社帝國通信工業株式會社	株式會社東京無線電機株式會社	株式會社大華鋼業株式會社	株式會社大連市榎房屯五九三	株式會社東京無線電機株式會社	株式會社東京無線電機株式會社
東京都京橋區銀座西 七丁目六二	株式會社大成製作所	東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社	大連市榎房屯五九三	新東京特別市祝町三丁目一	東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社
大阪市北區堂島北町 二〇		東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社	新東京特別市祝町三丁目一	新東京特別市祝町三丁目一	東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社
		東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社	新東京特別市祝町三丁目一	新東京特別市祝町三丁目一	東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社
		東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社	新東京特別市祝町三丁目一	新東京特別市祝町三丁目一	東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社
		東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社	新東京特別市祝町三丁目一	新東京特別市祝町三丁目一	東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社
		東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社	新東京特別市祝町三丁目一	新東京特別市祝町三丁目一	東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社
		東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社	新東京特別市祝町三丁目一	新東京特別市祝町三丁目一	東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社
		東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社	新東京特別市祝町三丁目一	新東京特別市祝町三丁目一	東京無線電機株式會社	東京無線電機株式會社

購買名簿登錄者所在地(本店、工場)變更

部外秘臨時購買名簿登錄者名義變更

本社所在地ヲ川崎市刈宿字西仲町三三五ニ
改ム

本社所在地ヲ川崎市刈宿字西仲町三三五ニ
改ム

四ノ 三三三 九八六	四ノ 一〇	五ノ 九八七 四七	四ノ 五一〇	三ノ 七〇	三ノ 二九	三ノ 一一二	三ノ 四九九	三ノ 四九八	三ノ 四	二ノ 五五三	三ノ 四二一 二六	二ノ 五五五 四四六 二
古河電気工業株式会社	國産電機株式会社	株式会社横河電機製作所	株式會社横河電機製作所	株式會社横河電機製作所	日本内燃機株式会社	日東航空工業株式会社	後藤機械工具株式会社	株式會社大岡製作所	大日本潜水衣具製造株式會社	三菱製鋼株式会社	株式會社日本製鋼所	株式會社日本製鋼所
	東京都澁橋區上落合一丁目一四〇	東京都澁橋區角筈一丁目八一四	東京都澁橋區角筈一丁目八一四	東京都澁橋區角筈一丁目八一四	東京都赤坂區溜池町三〇	大田市東區備後町二丁目五六	東京都大森區入新井四丁目二七	東京都大森區入新井四丁目二七	東京都大森區入新井四丁目二七	横浜市西區平沼町三丁目二七	東京都日本橋區通二丁目五	東京都日本橋區通二丁目五
	東京都豊島區高田南町三丁目七一七	東京都北多摩郡武蔵野町吉祥寺三〇〇	東京都北多摩郡武蔵野町吉祥寺三〇〇	東京都北多摩郡武蔵野町吉祥寺三〇〇	東京都浦田區古市町一七七	廣島縣賀茂郡用尻町字森一六五九	東京都大森區入新井五丁目二五一	東京都大森區入新井五丁目二五一	東京都大森區入新井五丁目二五一	横浜市神奈川區平沼町三丁目二七	東京都麩町區丸ノ内一丁目二	東京都麩町區丸ノ内一丁目二
横浜市中西區平沼町四丁目二三								愛媛縣喜多郡五城村	東京都城東區大島町六丁目三八〇			
横浜市神奈川區西平沼町四丁目二三								東京都品川區大井町二丁目二六二	横浜市神奈川區平沼町二丁目一三	東京都城東區大島町六丁目五〇		

1956

一三ノ 三三 一〇〇七六	一六ノ 二〇	一四ノ 六	二三ノ 八七六五〇八六一〇八七六四二一	一三ノ 二二 三二	一二ノ 二二	九ノ 一〇	九ノ 四三二一
日本化学工業株式会社			日本油脂株式会社	東亜燃料工業株式会社	曙兵器工業株式会社	株式会社五稜石綿紡織所	
東京都江戸川区小松川一丁目一			東京都日本橋區通一丁目九	東京都京橋區銀座三丁目一	東京都芝區新橋一丁目一八	大阪府城東區三組町四一	
東京都城東區船戸町九丁目二〇			東京都芝區田村町一丁目二	東京都麴町區有樂町一丁目五	東京都豊島區高田三丁目七八四	大阪府旭區三組町四一	
						大阪府城東區今津町四一	
						大阪府旭區今津町四一	

一七ノ九									
一三ノ二九	合資會社大橋漆行	大阪府都島區御幸町三丁目四三三	大阪府都島區生江町四三三	大阪府都島區御幸町三丁目四三三	大阪府都島區生江町四三三				
一七ノ八七	昭和特殊硝子株式會社	東京都東區龜戶町六丁目四〇	東京都東區龜戶町六丁目六ノ	大阪府泉南郡樟井町字小脇岸上一四三					
一七ノ二二	東洋クロス株式會社	大阪府東區備後町四丁目四四	京都市下京區吉祥院中島町二八	京都市下京區吉祥院中島町二八					
一七ノ三一	理研光學工業株式會社	東京都淺草區淺草橋二丁目三	東京都京橋區銀座八丁目三ノ四						
二二ノ七	株式會社大日本レントゲン製作所	大阪府東區關目町二丁目八四	大阪府東區關目町二丁目八四	大阪府東區關目町二丁目八四					
二ノ五九	株式會社高田アルミヒツム製作所	大阪府南區心齋橋筋一丁目三六ノ一	堺市南生島町一丁五						
二ノ五一	旭精工株式會社	堺市東區六丁五七	大阪府泉北郡鳳町長承寺六〇	堺市東區六丁五七					
二ノ七〇	株式會社日本製鋼所	東京都日本橋區通二丁目五	東京都麴町區丸ノ内一丁目二	堺市東區六丁五七					
二ノ八五	帝國産業株式會社	大阪府北區中之島二丁目一八	大阪府泉南郡貝塚町津田六五	大阪府泉南郡貝塚町津田六五					
三ノ六ノ二	株式會社川西機械製作所								
三ノ八	後藤機械工具株式會社	東京都大森區入新井四丁目二七	東京都大森區入新井五丁目二五						
三ノ一六	壽重工業株式會社	大阪府北區神明町六丁目四八	大阪府北區曾根崎上二丁目四八						
一一ノ一	井上護謨工業株式會社	名古屋市中區幡野町三丁目二五	名古屋市中區幡野町三丁目二五						
一五ノ二	濱野機革工業株式會社	東京都足立區梅田町一七九三	東京都本所區橫網町二一						

臨時購買名簿登録者所在地(本店、工場)變更

二八ノ 四四四三三二 四三二一〇九	四ノ五ノ二	七ノ 一九五四三二	六ノ 二〇三九七	二ノ 二一七 一九三七六五三二一六五四三二一
株式會社日本製鋼所				
丁目五 東京都日本橋區通二				
一丁目二 東京都麴町區丸ノ内				

部外秘購買名簿登録者所在地(本店、工場)變更

部外秘臨時購買名簿登録者所在地(本店、工場)變更	二八ノ六五	二八ノ 七七六六四一一 一〇九八八六三九	二四ノ 八六五四二一	二一ノ五三	二七ノ 六五四三二一	九ノ一〇	一九六 一〇ノノ ノノノ一 四六三〇四	一ノ一四
	大日本兵器株式会社	株式會社横河電機製作所	古河電氣工業株式会社	壽重工業株式会社	株式會社中島製作所			
	丁目四 東京都京橋區京橋一	丁目八 東京都澁橋區角管一			一 大阪府北區神明町六	一 大阪府西區九條南通		
	二丁目一八 東京都麩町區丸ノ内	野町 東京都北多摩郡武藏 吉祥寺三〇〇〇			二 大阪府北區會根崎上 丁目四八	一 大阪府港區九條南通		
					丁目二三 横濱市中區平沼町四	一 大阪府西區九條南通		
					町四丁目二三 横濱市神奈川區平沼	一 大阪府港區九條南通		

項目	新 會 社 名	舊 會 社 名	記
一ノ一七	株式會社日本製鋼所	東京都日本橋區通二丁目五	
一ノ二三	壽重工業株式會社	大阪府北區神明町六	
七ノ九五		大阪府北區會根崎上三丁目四八	
一ノ一六	株式會社平野製作所	名古屋市中川區玉船町一丁目一	名古屋市中川區玉船町一丁目一
九ノ三三	井上金屬工業株式會社	名古屋港區玉船町一丁目一	名古屋港區玉船町一丁目一
二〇ノ五	日本硝纖株式會社	東京都板橋區志村町一丁目五	大阪府都島區善源寺町二三八
		東京都板橋區志村町一丁目一	大阪府都島區善源寺町四丁目三八
一〇ノ三二	三菱重工業株式會社 〔長崎兵器製作所〕	三菱重工業株式會社 〔神戸造船所〕	工場所在地ヲ長崎市大橋町二〇ニ改ム
一〇ノ三三			
一〇ノ三四			
一〇ノ三五			
一〇ノ三六			
一〇ノ三七			
一〇ノ三八			
一〇ノ三九			
一〇ノ四〇			
一〇ノ四一			
一〇ノ四二			
一〇ノ四三			
一〇ノ四四			
一〇ノ四五			
一〇ノ四六			
一〇ノ四七			
一〇ノ四八			
一〇ノ四九			
一〇ノ五〇			
一〇ノ五一			
一〇ノ五二			
一〇ノ五三			
一〇ノ五四			
一〇ノ五五			
一〇ノ五六			
一〇ノ五七			
一〇ノ五八			
一〇ノ五九			
一〇ノ六〇			
一〇ノ六一			
一〇ノ六二			
一〇ノ六三			
一〇ノ六四			
一〇ノ六五			
一〇ノ六六			
一〇ノ六七			
一〇ノ六八			
一〇ノ六九			
一〇ノ七〇			
一〇ノ七一			
一〇ノ七二			
一〇ノ七三			
一〇ノ七四			
一〇ノ七五			
一〇ノ七六			
一〇ノ七七			
一〇ノ七八			
一〇ノ七九			
一〇ノ八〇			
一〇ノ八一			
一〇ノ八二			
一〇ノ八三			
一〇ノ八四			
一〇ノ八五			
一〇ノ八六			
一〇ノ八七			
一〇ノ八八			
一〇ノ八九			
一〇ノ九〇			
一〇ノ九一			
一〇ノ九二			
一〇ノ九三			
一〇ノ九四			
一〇ノ九五			
一〇ノ九六			
一〇ノ九七			
一〇ノ九八			
一〇ノ九九			
一〇ノ一〇〇			

1961

秘

海軍公報 號外

○判決

判決

昭和十九年八月三十一日(木)
海軍大臣官房

秘海軍公報 號外

1962

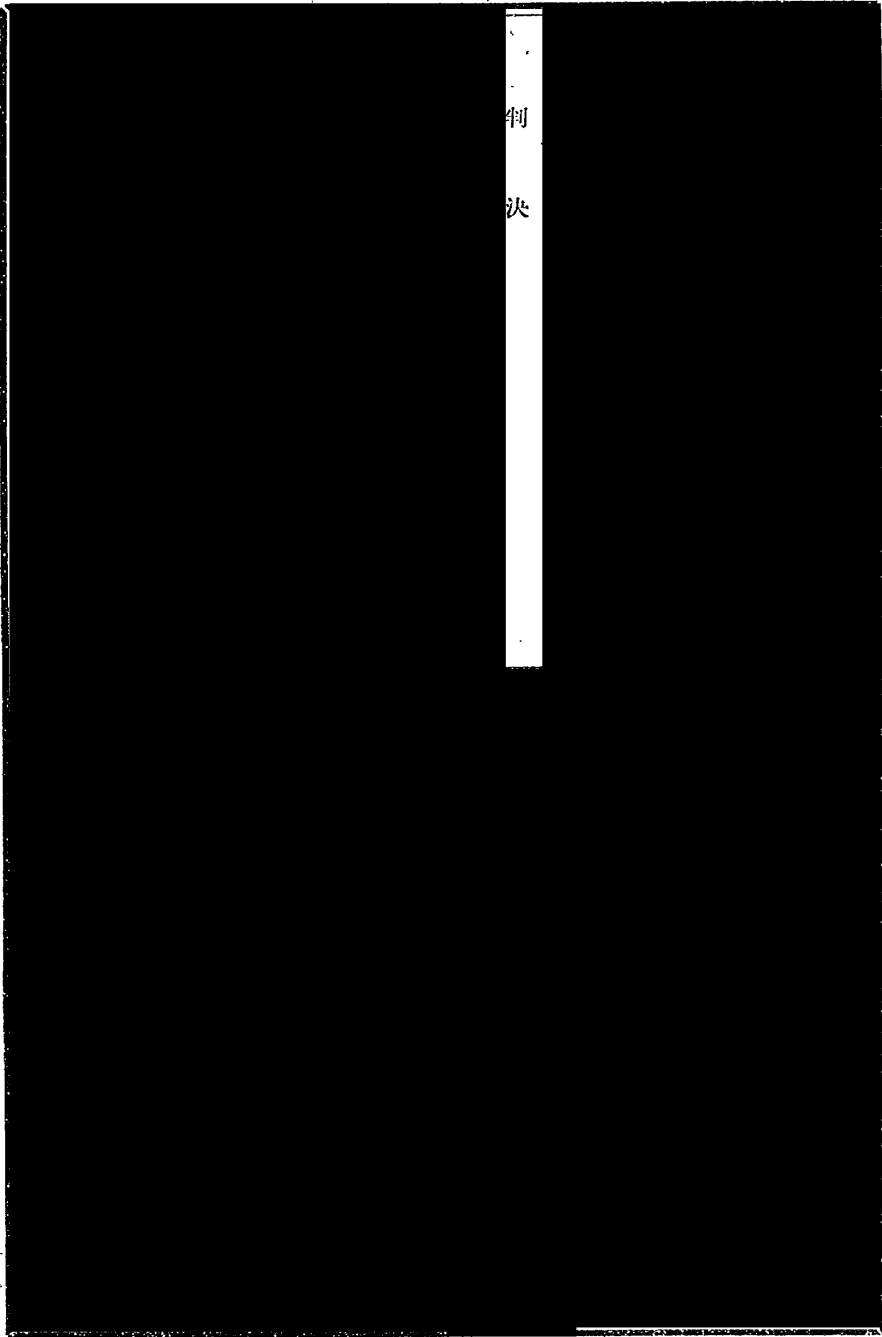
判
決

秘
海
軍
公
報
號
外

1963

秘
海
軍
公
報
號
外

判
決



三

1964

秘

海軍公報 號外

○懲罰

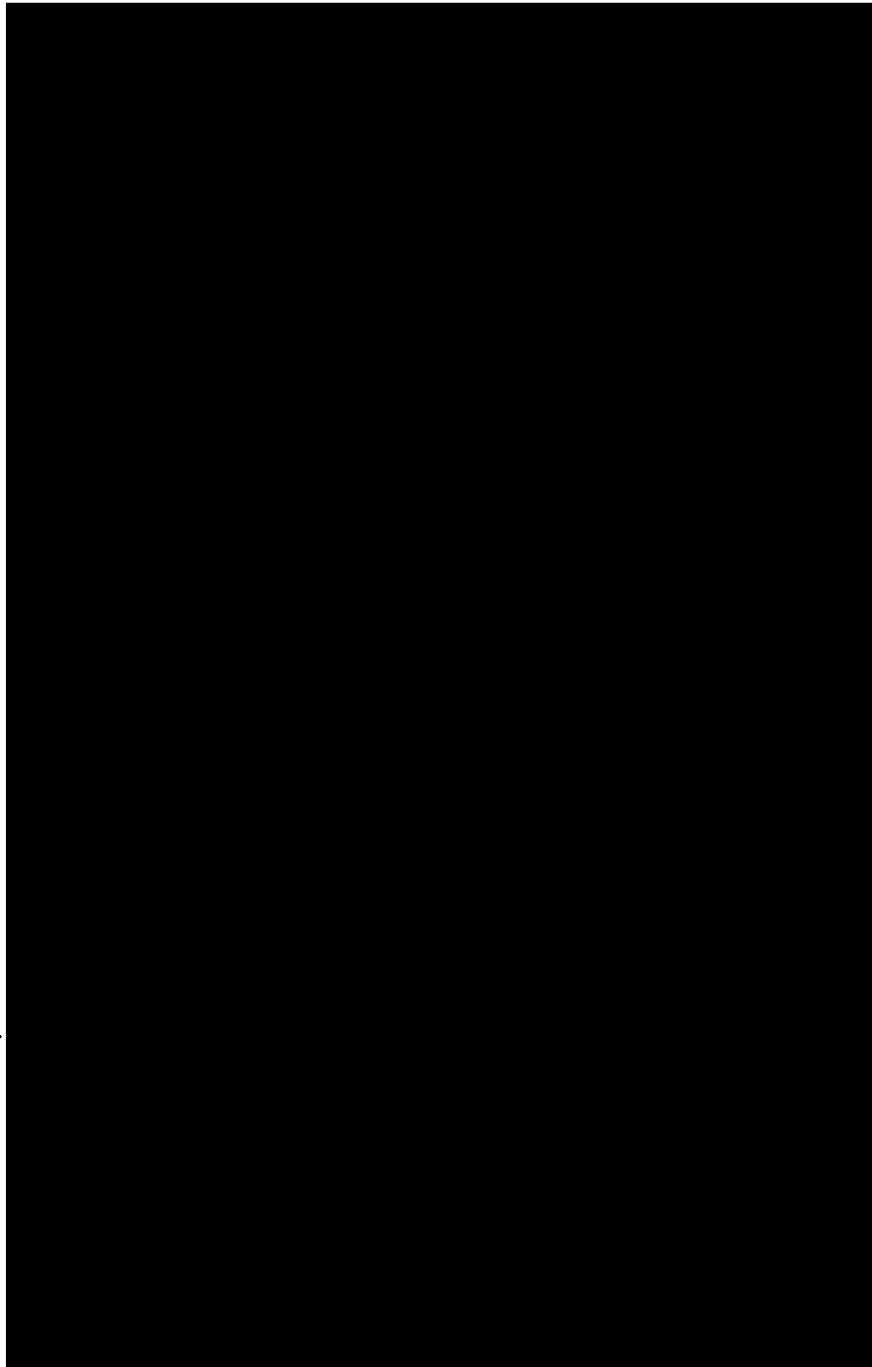
懲罰言渡書

秘海軍公報 號外

昭和十九年八月三十一日(木)
海軍大臣官房

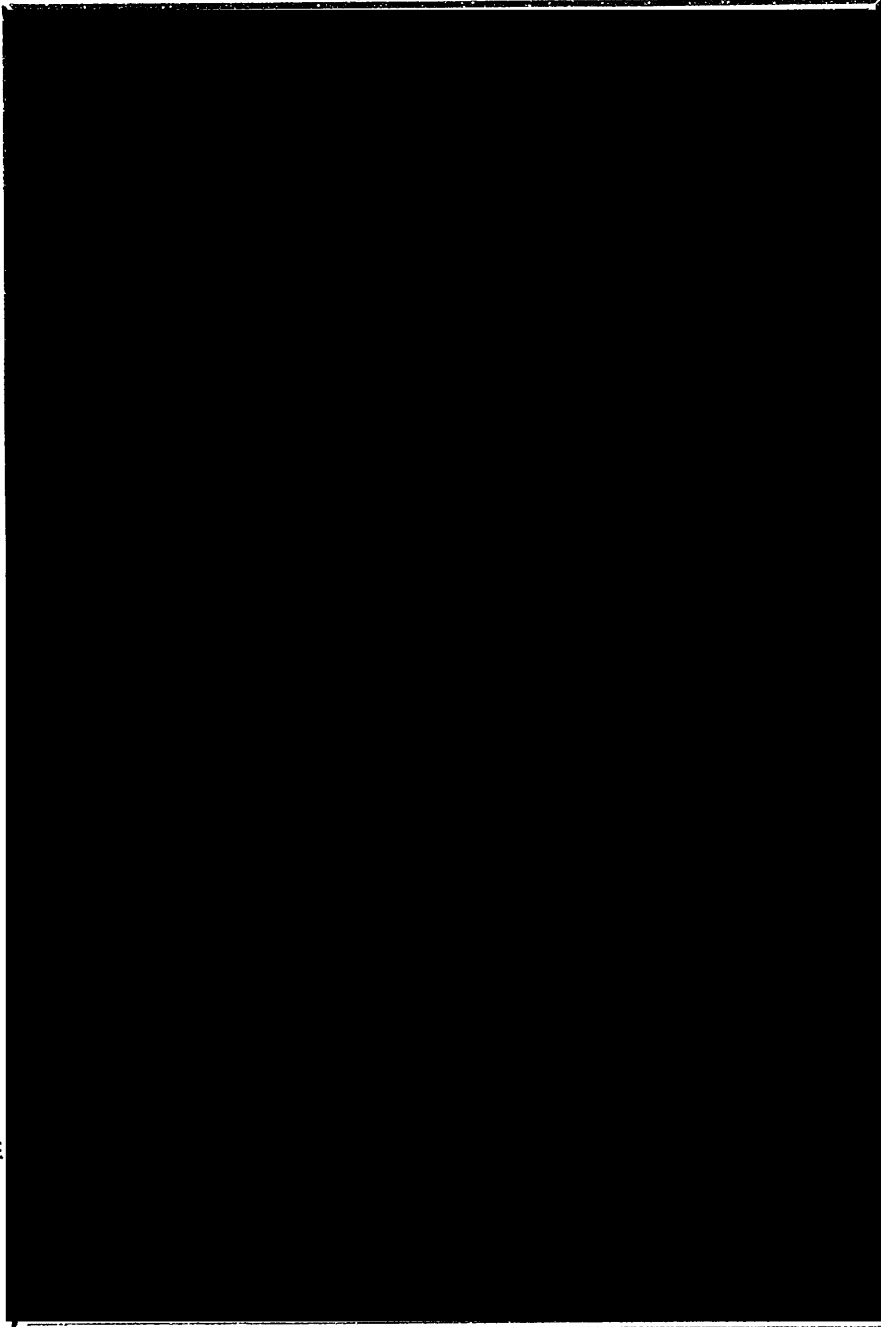
1965

秘
海
軍
公
報
號
外



1966

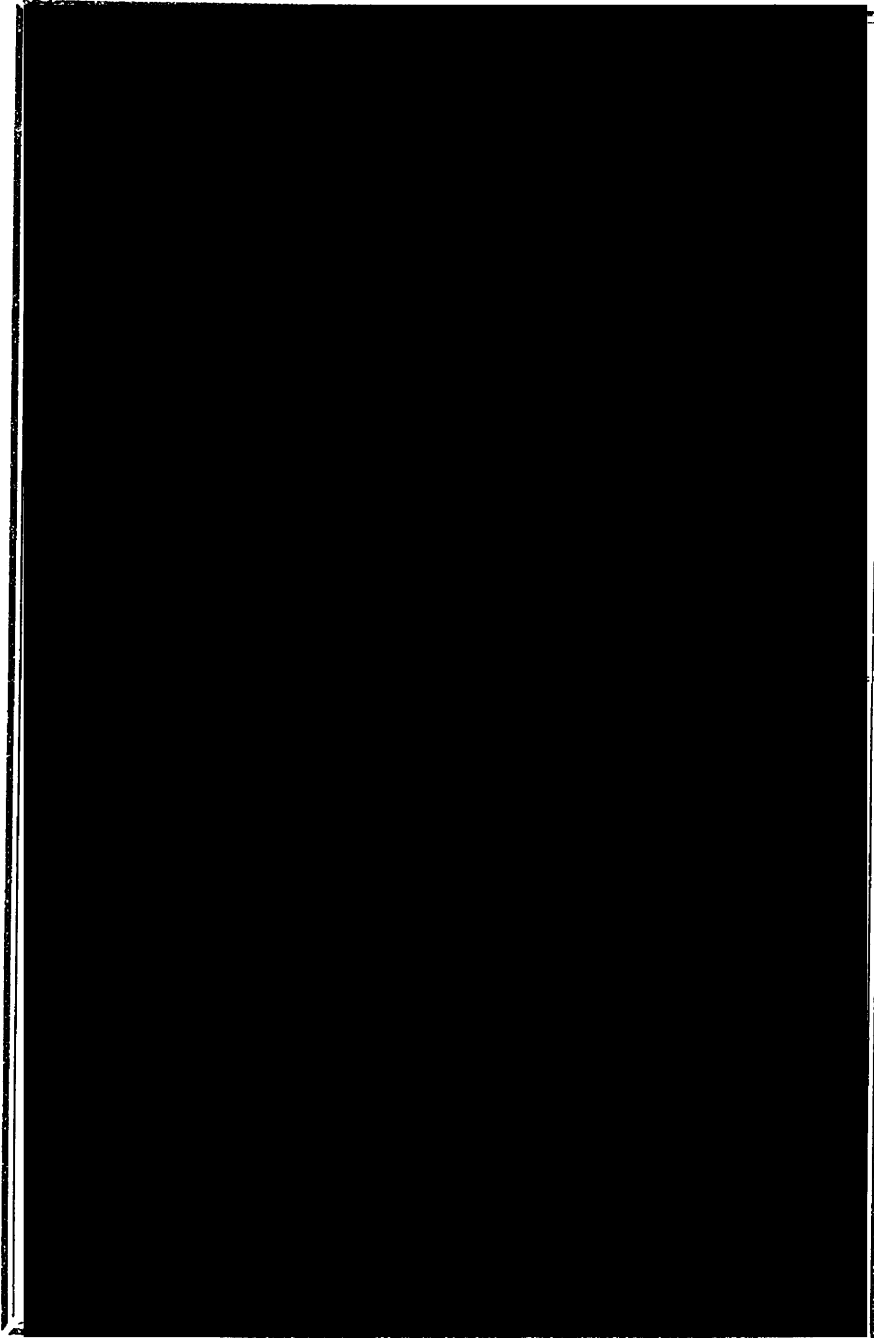
秘
海
軍
公
報
號
外



三

1967

秘
海
軍
公
報
號
外



四

1968

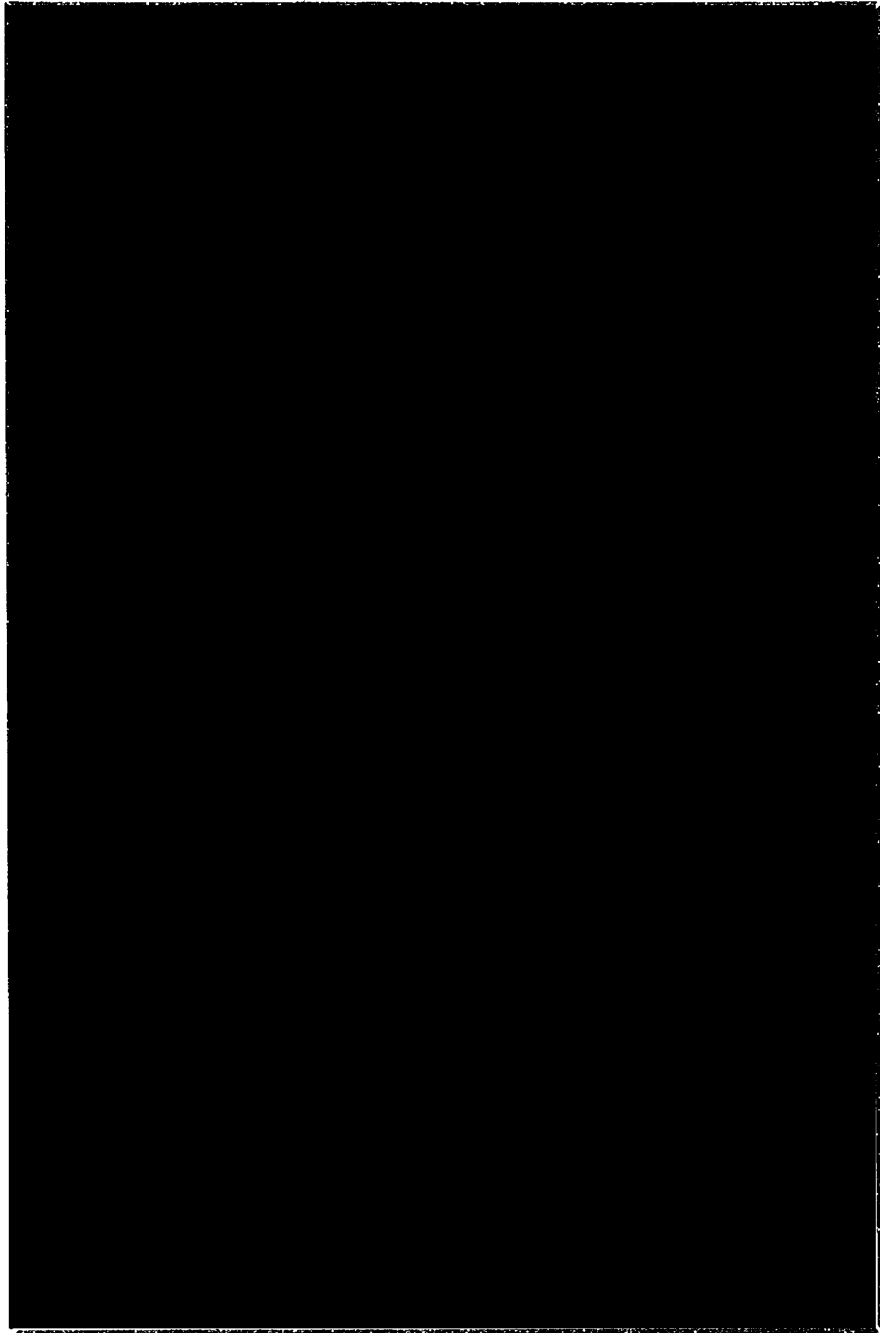
秘
海
軍
公
報

號
外

五

1969

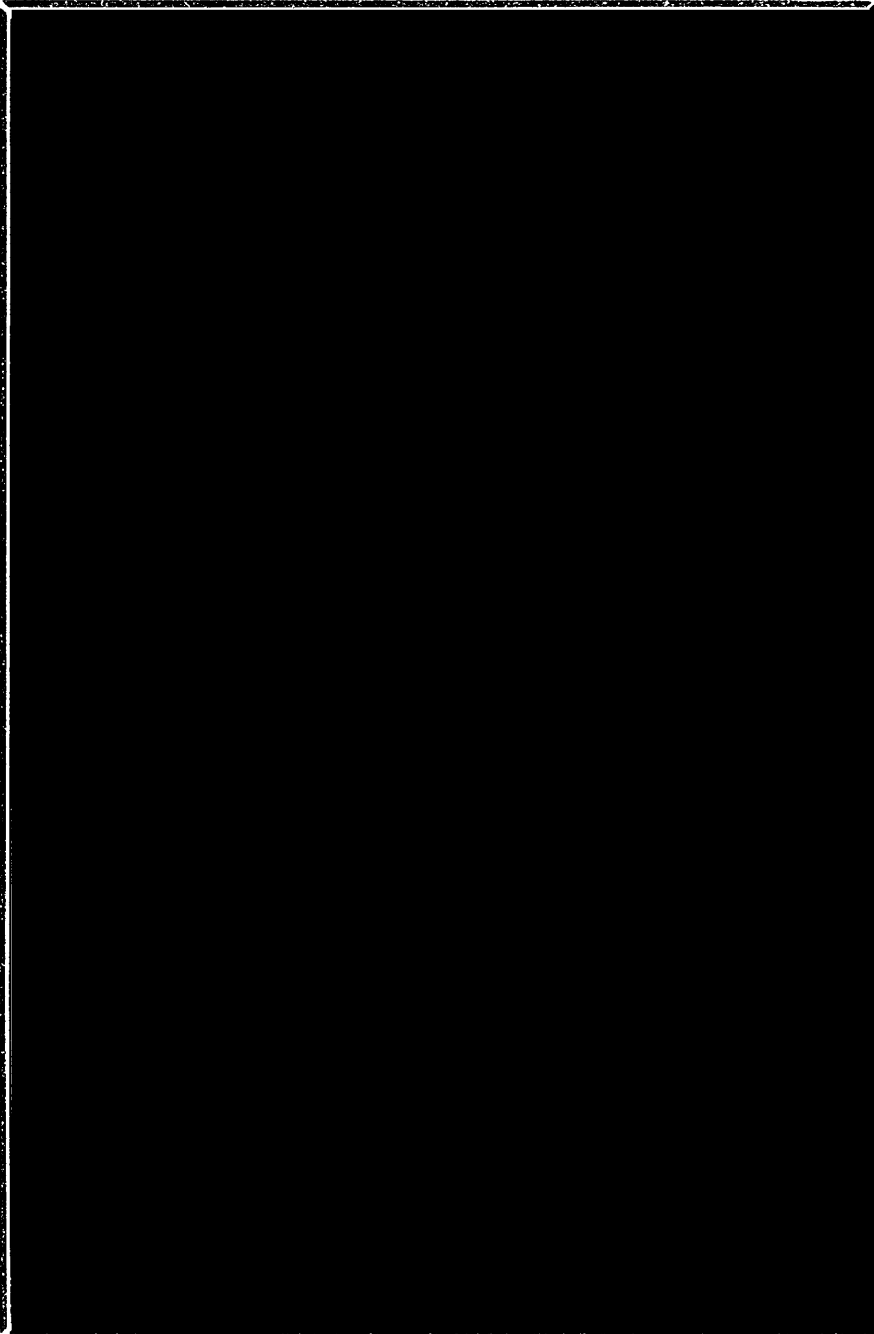
秘
海
軍
公
報
號
外



六

1970

秘
海
軍
公
報
號
外



七

1971

秘
海
軍
公
報

號
外

八

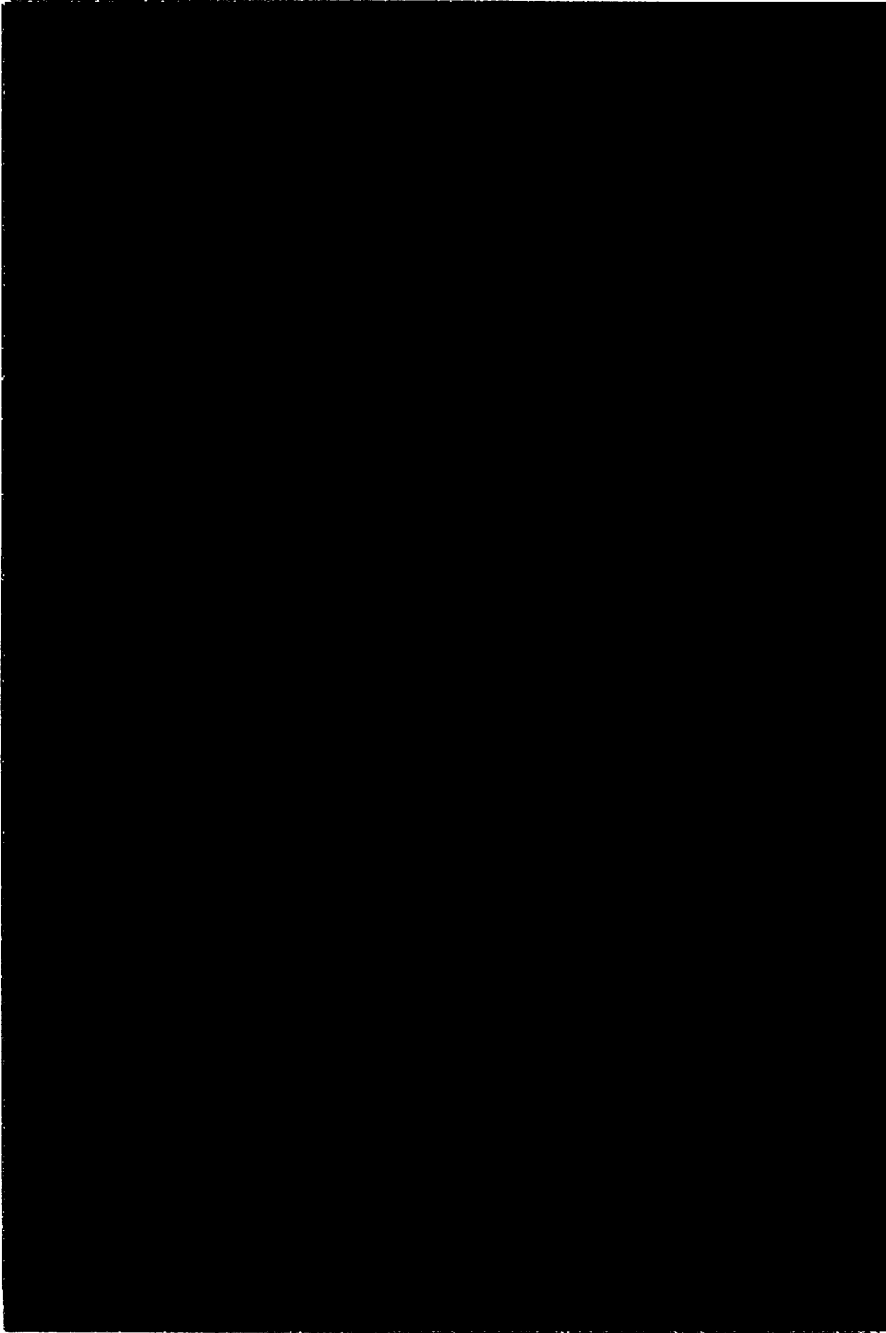
1972

秘
海
軍
公
報
號
外

九

1973

秘
海
軍
公
報
號
外



1974

秘
海
軍
公
報
號
外



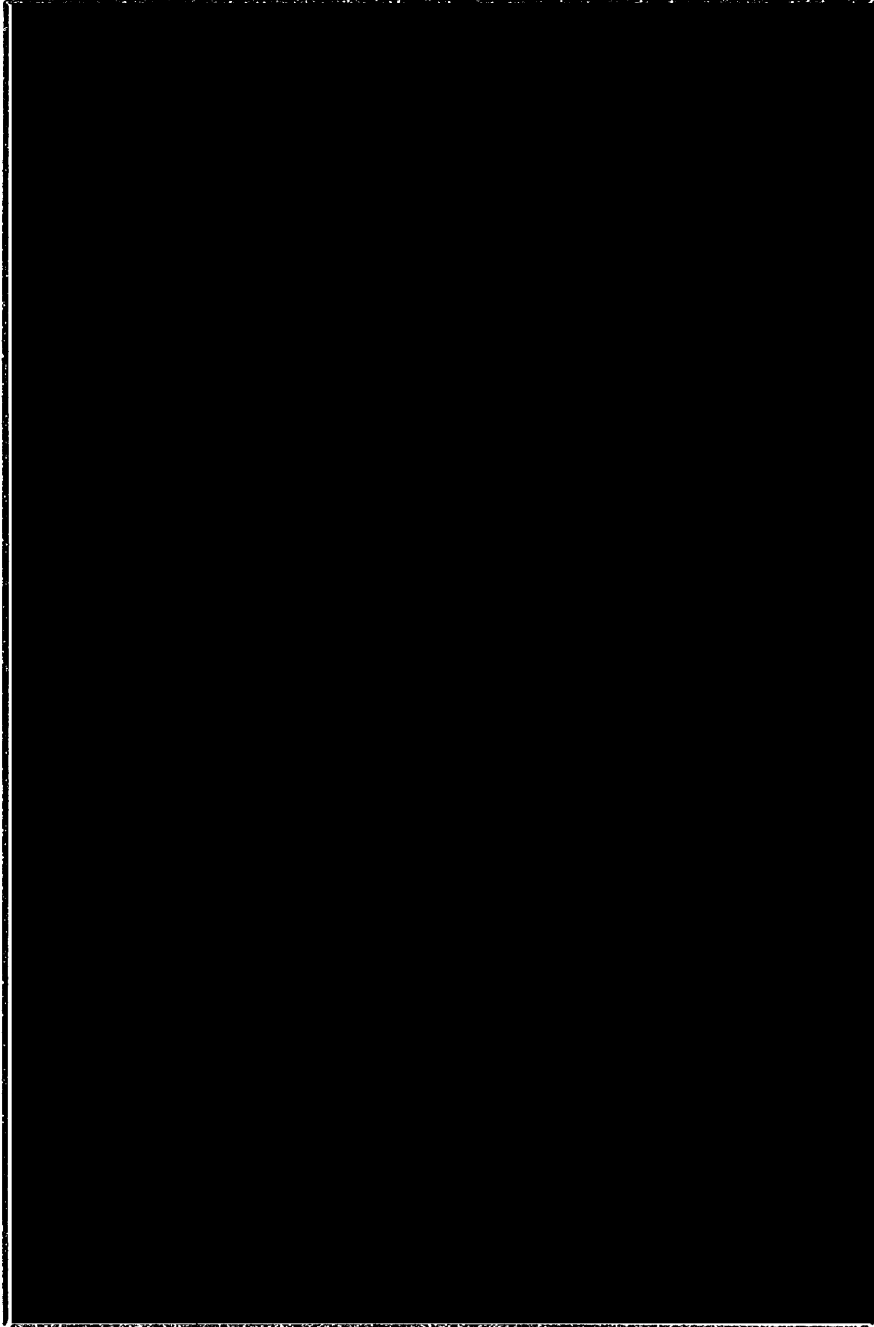
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

1975

秘
海
軍
公
報
號
外

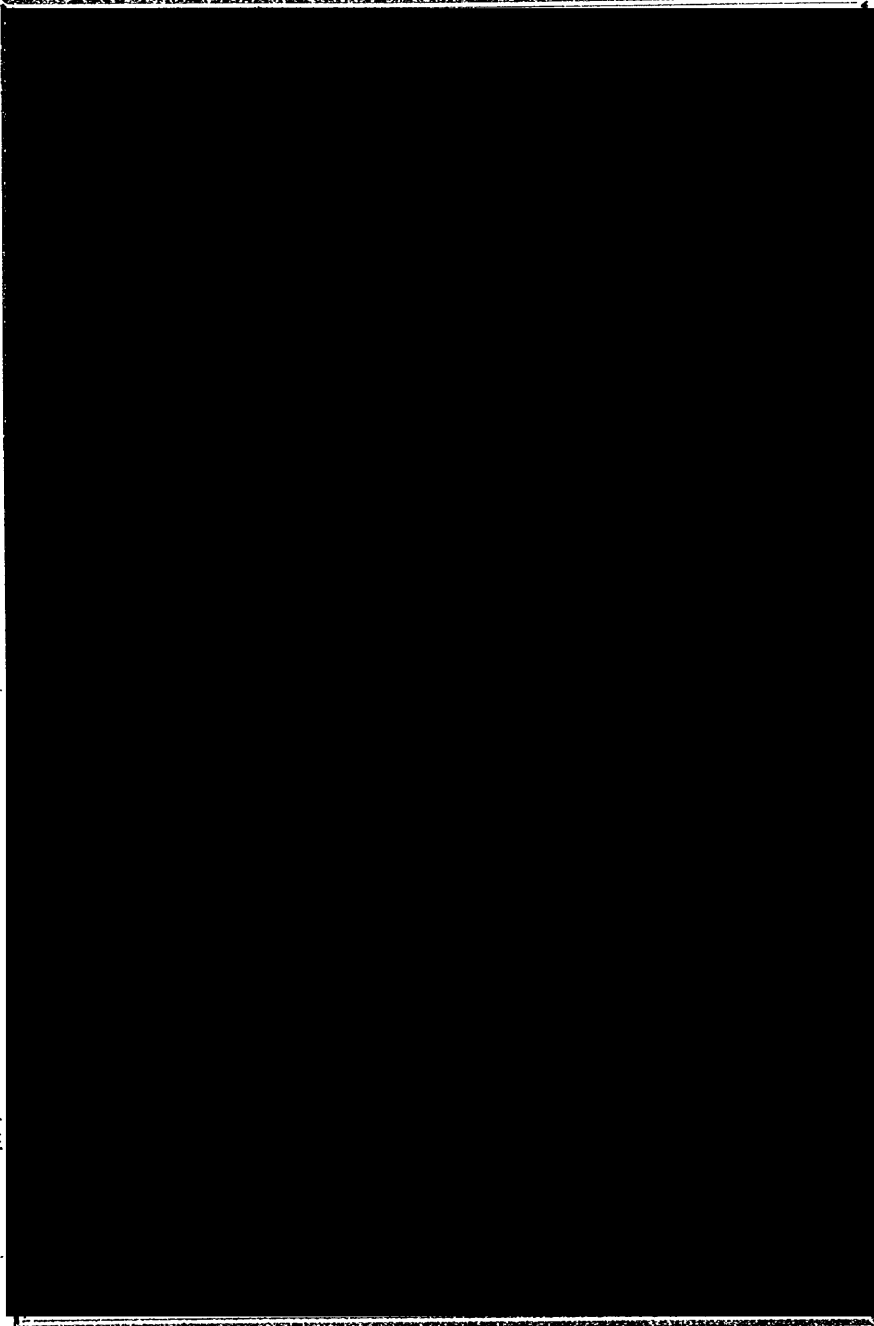


△
△
△
△
△
△
△
△

一
二

1976

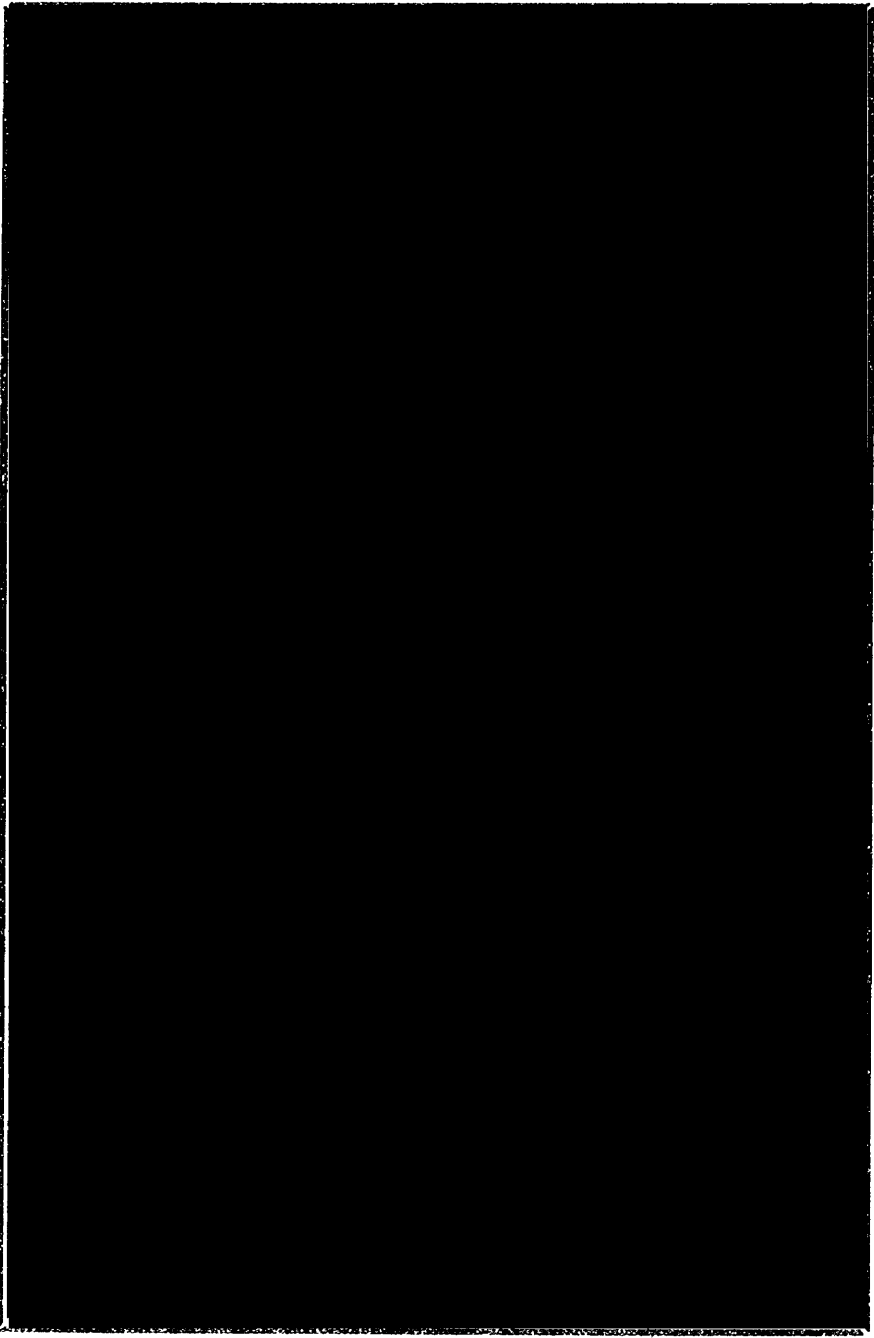
秘
海
軍
公
報
號
外



一
三

1977

秘
海
軍
公
報
號
外



一
四